

「じゅうく。」の今までとこれから

昨年度の実績と中学部のご紹介をします

連載 No. 01 / 12
Date. 2022.06

「じゅうく。」とは？

町営塾「じゅうく。」は、四万十町内の高校を盛り上げる「高校応援大作戦」のもと立ち上がった公設塾です。魅力ある教育づくりと町内高校の入学人数の増加によって、地域の活性化につなげるとともに、「地域が好きな人」を増やしていきたいと考えています。

「じゅうく。」の中学部がスタートします！

6月下旬より、窪川中・大正中・十川中の3年生を対象に、週1回開室予定です。



高校部の様子



昨年度は試験的に、窪川中学校の3年生を対象に実施していました。



なぜ中学部を実施するのか？

中学生のうちから、「じゅうく。」での学びや活動を通して、勉強のおもしろさや地域と関わる楽しさを感じてほしいと考えています。「『じゅうく。』があるから、四万十町内の高校に進学しよう！」そんな子どもたちを増やしていきたいと思っています。

「じゅうく。」生の合格実績

「じゅうく。」では、令和元年から【進学コース】を設立しております。今回は、そのコースを選択した昨年度の生徒の合格実績をお知らせいたします。

国公立大学

高知大学 人文社会科学部
(学校推薦Ⅰ・偏差値54・倍率2.9倍)
※学校推薦での偏差値記載はないため、前期日程(2科目型)の偏差値を記載

高知県立大学 文化学部
(学校推薦・偏差値52・県内倍率1.4倍)
※学校推薦での偏差値記載はないため、前期日程(2科目型)の偏差値を記載

高知県立大学 社会福祉学部
(学校推薦・偏差値51・県内倍率1.4倍)
※学校推薦での偏差値記載はないため、前期日程(2科目型)の偏差値を記載

愛媛県立医療技術大学 保健科学部
(前期日程・偏差値52・倍率3.0倍)

私立大学

桃山学院大学 経営学部
(学校推薦・偏差値53・倍率5.88倍)
※学校推薦での偏差値記載はないため、前期日程(2科目型)の偏差値を記載

桃山学院大学 社会学部
(後期日程・偏差値53・倍率3.68倍)
※後期日程での偏差値記載はないため、前期日程(2科目型)の偏差値を記載

桃山学院大学 国際教養学部
(後期日程・偏差値52・倍率2.0倍)
※後期日程での偏差値記載はないため、前期日程(2科目型)の偏差値を記載

桜美林大学 リベラルアーツ学群
(後期日程・偏差値55・倍率1.34倍)
※後期日程での偏差値記載はないため、前期日程(2科目型)の偏差値を記載

◇偏差値は、ベネッセマナビジョンを参考に記載しています。また、国公立は5教科7科目、私立は2-3教科の合計点で偏差値が算定されています。

町営塾「じゅうく。」では、今年度も引き続き、集団授業や個別指導による学習サポートや、様々な人・コトとの出会い、挑戦の機会の提供などを通して、高校生たちの「未来が動き出すきっかけづくり」を目指していきます。

随時、新規入塾生を募集しております

お問い合わせ先

町営塾「じゅうく。」
☎ 22-3163

「じゅうく。」
公式 facebook



See you next month!

今月の



人それぞれの「走る楽しさ」を！

今回は「ランニングコンビ」で登場いただいた阿部亜梓さんの夫君、阿部快士さん。2021年11月、亜梓さんの地域おこし協力隊着任に合わせてご夫婦で四万十町に移住。快士さんはお勤めになられていた東京のIT関連会社を辞めて...というわけではなく、休職して...ということでもなく、移住後も完全リモートという形でしっかり会社の仕事を続けられています。「IT関連」というとそれが普通なのではないかと思われる



▲公開しているランニング動画のお二人。

る方が多いかもしれませんが、必ずしもそうではないと思います。快士さんの会社でも、移住での完全リモートは快士さんが初めてなのだそうです。移住して半年。快士さんご本人も、会社の人たちも、どちらも「これならいける！」という手応えなのですか。さて、快士さんも、亜梓さんと同じ神奈川県生まれ。快士さんは、小学校低学年の頃からお父様と一緒にジョギングなどをしていたそうです。というのも、お父様は今も、トライアスロンやフルマラソンをライフワークにしている、そのために会社を早期退職したという「筋金入り」!!そんなお父様の影響で、快士さんもお父様の影響で、「箱根駅伝」を目標にするようになりました。東海大学に進むために、高校は様々なスポーツの名門・東海大相模へ。しかし、陸上部の体験入部の時に「ちょっと違うかな」と感じて、陸上部には入りませんでした。かといって走ることをやめたわけではなく、自分なりのランニングライフを送っていたといいます。

その後、大学を卒業して、マラソンの企画運営会社に入りました。なかなかのハードワークだったこともあって、現在の会社に転職。最初の5年は営業職をこなし、その後はアウトソーシングサービスのマネージャーとや、企業へのアドバイスの提案を行うというITコンサルタント業務も担当しています。

四万十町への移住を決めたきっかけは亜梓さんの回でご紹介したとおりですが、そこに至るまでに、お二人で行った旅行先での自然豊かな環境体験も「きっかけのきっかけ」になっているのだとか。

今、お二人でアップされている「ランニング動画」は、快士さんが「ちょっとレベルアップした走りもしてみよう」という楽しさを、亜梓さんが「のんびりでもいいんだよ」という楽しさを、そんな、人それぞれの楽しさを感じてもらえたらという思いで発



あべ かいし
阿部 快士さん

信しているそうです。動画も爽やかなら、快士さんもまた爽やか!本当に「人あたりが良い」というのはこの方のことだと思ってしまう。いつまでも話していたいと思わせてくれる気持ちの良さ。大学時代はアカペラサークルで歌っていたという経歴や、ご本人が歌う動画を公開するなど、やってみようと思っただけでやってみると「人を楽しませる」のが、快士さんのキラキラと「人を清々しくしてくれるキャラクター」が何にも増して快士さんの魅力であると感じます。

ご本人は、これと違って意識していないとおっしゃいますが、発する言葉のチョイス、トーンなどを含めた人との会話のあり方、内容、品、距離感、表情、どれをとってもキラリの快士さんです。学ばせてもらいました!!